

これだけはおさえてほしい

# 津波 から逃げ切るための ポイント

1



## 市では震度7が想定されている

地震の揺れによって家が倒れてしまったり、家具などが倒れることも考えられます。耐震化や家具の固定など、地震の揺れに対してもできることから備えておきましょう。

3



## 率先して避難する

いざというときにあなたが率先して行動することで、その姿を見た周辺の人も避難するようになり、結果的に多くの人を助けることになるのです。

5



## 避難することを習慣に

被害が無かったとしても、避難することを習慣とすることが、家庭でできる津波防災教育のひとつです。

2



## 想定にとらわれない

ハザードマップは、安全を保証する地図ではありません。想定はシナリオのひとつであり、想定どおりの津波が来るとは限らないことを理解することが、命を守る第一歩です。

4



## 避難をあきらめない

避難をあきらめたり、避難しないことで、あなたを心配する人が避難をためらったり、助けに来たりして、被害にあってしまうかもしれません。

6



## 命を守るために最善を尽くす

避難する場所は、市の指定避難場所でなくてもかまいません。命を守ることが重要です。

浸水域  
マップ



想定の異なる  
2つの浸水域  
を確認しましょう

浸水深  
マップ



避難先を  
考えてみましょう

到達時間  
マップ



逃げどきを  
考えてみましょう